

沖縄

有力IT企業の戦略

コンピュータ沖縄

コンピュータ沖縄(名護 宏雄社長)は、仮想化、

と、モバイルを切り口にしたビジネスモデルを確立し、民間需要の開拓を

図る。

仮想化ソフトは、ウィエムウェアをはじめソフト

る。

仮想化ソフトは、ウィエムウェアをはじめソフト



名護 社長

仮想化とモバイル、民間需要を開拓

て提案できるのが特徴。

沖縄県西原町の全サーバ

を仮想化するなど、仮想

化の実績は約15社あり「県

内ではトップクラス」(名

護社長)。しかし、その

ち民間は30%にとどま

り、ほとんどが官公庁で

力する。

の実績。名護社長は「民間

可)

おの、ほとんどが官公庁で力する。の実績。名護社長は「民間 同社サーバの入れ替えへの横展開を強化しているに合わせ、スマートフォンから経費精算や日報作成などもできる営業支援システムを開発。すでに同社営業社員は1年近く先行利用している。名護社長は「クラウドをキーワードに新しいビジネスモデル構築の年に「なる」と語る。11年3月期売上高は前年比20%減の10億円超の。名護社長は「スクリーン・ニューディール関連の案件獲得が好調だった09年度が良すぎただけ。今期は、通常に戻るだけで想定範囲内」と分析する。官公庁向けは前年並みを確保しているが「今後の大幅な成長は予想しにくい。伸ばすのは民需」(名護社長)と、県内企業向けにパ